もっと実態を知りあおう

主婦会　福川ふみえ

高い関心

三池大変災から早くも三年目を迎えようとしています。いまなお病床にしんぎんしている人、通院リハビリを受けている人の救済のために、各方面の人々の長い間の努力と協力で、特別立法制定をたたかっていますが、春斗のなかでCO家族を中心に、大きくもりあがっています。

三池のなかでもよく知っているつもりでも、CO患者の療養、生活実態など、また家族の患者をかかえての生活とのたたかい、いつなおるかわからない夫や、性格変化によって頼りにならなくなった主人をかかえて将来に対する不安なやみなど、まだまだ無理解なところがたくさんあると思います

主婦会では、各支部・地域で交流し、実態を知り、理解を深め、特別立法制定の運動に積極的にとりくんできました。各地域での交流座談会の総括をいたしましたが異口同音にでたことは、おたがいの連帯感がたしかめられたことが感動的にだされています。また、どこの集会でも非常に集りがよかったことは、この座談会が成果をおさめたものと考えます。

ほんとうに気の毒だ

いままでガス患とはあまり知らなかったが、知らなかったのをすまないと思うし、合理化のきびしさを思い知らされた。気の毒とのことばしかみつからない。ほんとうに気の毒だ。災害後年月がたって、災害による苦しみが続いているのを知らなかったことをすまなく思うと、卒直な意見がでました

深い連帯のなかで

災害によって、平和な家庭生活が破壊され、将来のことを思うときに対する怒りとにくしみに耐え、たたかうことを決意してのべられました。

交流後は顔見知りができたからおたがいに「がんばろう」と、ことばをかけ、激励しようとある分会では決りました。

CO特別立法制定をたたかう

労災法では、満三年たてば補償が打ち切られるそうですが、現在の家族のきびしい生活条件では、病人に栄養をあたえることは、まったくおぼつかないことが訴えられました。

特別立法の必要性が強く訴えられ、深く共感を呼び、自分たちのこととして強くうけとめられました。

春斗をたたかうなかで当面の問題として、まず大牟田・荒尾地評関係の主婦の会などに働きかけ、入院患者の実態と、家族との懇談会も計画したいと考えます。

反省として

どこの支部からもだされていることですが、交流座談会が各分会で非常な共感を呼び集会者が、どの集会よりも上まわっていたことをまず注目しています。

こ、交流をもっと、早い時期にしてもらいたかった。同じたたかう仲間として、深く知らなかったことに対して、ほんとうにすまなかったという声がたくさんだされています。

まだ交流座談会のすんでいない分会もありますが、三月に入って逐次座談会を開催してゆきますが成果あるための地域分会主婦会の一層の協力をおねがいするものです。

激しい合理化の犠牲

名古屋造船所　下請け工15人が死亡

ほとんど臨時工

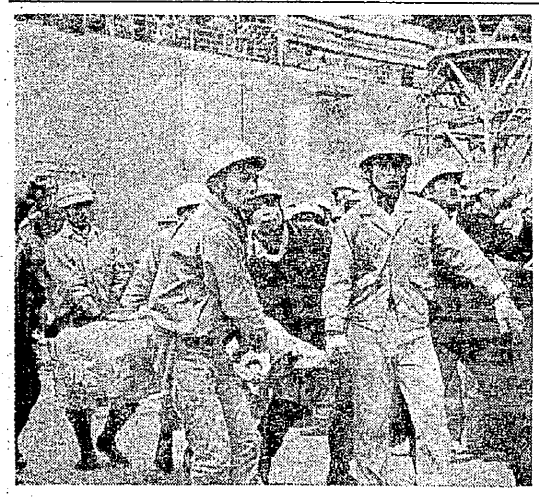
二月一六日午前一一時すぎ、名古屋市の石川島播磨名古屋造船所でぎ装中のプロパンガス運航船第三ブリヂストン丸（三万三千八百トン）第三貨物倉付近が火災を起こし、なかで作業していた大阪市の明星工業の作業員一五人が窒息死するという災害が発生した。

同船は昨年末進水をしたマンモスタンカーでプロパンガスを運ぶ船としては世界第二の大きさ。プロパンガスは常時マイナス四〇度に保っていなければ運べない。明星工業はこのための断熱装置の吹き付け（同造船所が開発した秘密装置）を行なっていたもので、化学、石油などの保温断熱工事の請け負い業者。同船の工事には昨年末から約二百人が派遣され、突貫工事をしていたが、ほとんどが明星工業の臨時工や季節労務者であった。

ここでも生産第一主義

火災の原因は明らかでないが、有毒な青酸ガスや一酸化炭素ガスが発生する。死亡した人びとは船内の事情に暗く、逃げ場を失って煙と有毒ガスにまかれたものとみられている。

造船の災害で一時に一五人が死亡したのはわが国ではじめて。ことしは一月二三日に川崎の日立造船神奈川工場で修理中米軍のLST船の爆発で四人の労働者が死亡したのを含めてすでに二七人がはげしい「合理化」の犠牲となっている。全造船機械労組（約七万人）の調べでは造船の進水量が毎年増加するにしたがって死亡事故も激増し（別表）、昨年はついに九二人の死亡者をだすという戦前戦後を通じて最大の〝記録〟となった。同造船所でも災害は増加の一途をたどり三八年の事故件数約五〇件が三九年約七〇、四〇年には百件を越えた。また昨年八月にも同造船所で建造中の大型タンカーで同様の火災事故が起こったがそのときは人がいなく、「ろう（漏）電らしい」ということで調査も行なわれなかった。



合理化の犠牲となつて、遺体となつて運び出される労働者

進水量と災害

	進水量	死亡者
35年	100	100
36年	108	143
37年	127	107
38年	154	136
39年	249	164

全造船機械労組調べ
（数字は指数）

ほやほや訪問（7）

三本線の石炭人形

三川　竹内隆雄さん（25）
節子さん（25）

炭鉱夫の妻

新婚二ケ月目の竹内夫妻を新港町にたずねると、新婚家庭の美しい調度品のなかに、高さ二〇センチぐらいの石炭人形がかざってあった。

石炭人形の坑内帽には、白いあでやかな三本線がクッキリと入れてある。

「わが家の宝です」と、奥さんは説明する。三川鉱の坑内夫であった節子さんのお父さんにも三本線の石炭人形を贈ったがこんどは二人の宝として、新しい三本線の石炭人形を作ったのだという。

「三本線をはめて、働く炭鉱夫の妻として……」まだはずかしそうに語る奥さんだが、労働者の妻としての固い決意がにじみでる。

「夫婦ゲンカ」てなんですか？

おなじ新港町同志で、小学生中学生と同級生で育った、幼なじみの二人だったが、二人の恋愛がはじまるまで隆雄さんしかそのことは知らなかったという。

結婚してお互いの小学時代の写真をみたら、おなじクラスに写っていたそうだ。

結婚した感想は？

「期待通りでした。みんなに早く結婚するように、すすめているのですよ」

「新婚早々から夫婦ゲンカするという話しをききますが、私たちからみると、それが不思議でならないのですよ……」

子供たちの時代には

節子さんのお父さんは、おなじ坑内夫だったのだが二年前に退転した。

私が隆雄さんと結婚するというと、両親から『おまえもいくのか』といわれました」

しかし二人の夢としては「たしかに給料は安いし、仕事も危険だが、子供をたくさんつくって、子供の時代には安心して、仕事と生活ができる社会をつくりたい」それが労働者としての、夫と妻の生き方ではないか。

二人の夢はデッカくて力強い

【写真は〝三本線の石炭人形がわが家の宝です〟と語る隆雄さん、節子さん夫妻】

ほんものの組合づくりを

北九州市八幡　T・S

三池でまなんだこと

大牟田といえば北九州とは目と鼻の先ですが、そちらへうかがう前は「三池とはどんなとこやろうか」と内心では不安でしたが、短い交流にもかかわらず、そんな思いもいっぺんに吹き飛んでしまいました。

「まなぶ」ではよく三池のことが出ていましたので、ひと通りの概念が頭に入っていましたが、現地に入ってみて〝ああ、やっぱり本物のすばらしい活動家が、労働者が、家庭があるんだなあ〟とつくづく感心しました。

文句一ついえない中で

八幡製鉄に働く私たちの中にはとかく他の会社よりいいんだという、つまらない優越感が多分にあります。

天下の八幡に働いていると口では自慢しながら、職場では何一つ文句がいえない状態です。四万七千の組合員をかかえながら、その組合たるや三池と比較のしようのないほど、冷たい官僚主義に覆われて、その腐れきった内情は涙が出るほど情けないものです。

いつもグチになってしまいますが、その苦しい中でせっかく芽生えた運動のタマゴもどうしようもなく、落伍していく場合が多いのです。本当に明るい展望がみいだせずに、みんな苦斗しています。

それでも数少い良心的活動家は三池のような階級的な組合をつくるために、会社と組合の目をかすめ、あらゆるところでサークルをつくり、学習会を組織し、まなぶを増して懸命に頑張っています。

一昨年の選挙では、左派が一万五千まで盛り返してきました。私もまだ若いし未熟です。また職員という体質から、どこまで正しい労働運動がやれるのだろうかといつも迷い、自分はこんなに弱いのかなあと、つくづくなさけなくなったことも、一度や二度ではありませんでした。

でも三池に行ってみて、皆んな強がりばかりいっているんじゃない。弱いところは弱いなりに、みんなで手を携え助けあっているのをみると、ああ、労働運動というものはきれいごとじゃない、泥にまみれてみんな努力しているんだと、つくづく思うのです。

ひざをまじえて語り合った

私は思うのです。ああ、三池にきてよかったと。別に家がりっぱでも、着ているのがりっぱでもネエ。そりゃ八幡の労働者の方がいい金もらっているかもしれん。それでも、とにかく三池はええと思う。数少ない私たちのために、夜遅くまで、あんなにたくさんの暖かい心にふれて……。自分はいままであんなこと思うてもみなかったです。だった三人のために、みなさんが熱心に語り合ってくれたのを。

二月三日に三池の報告座談会を開きました。職場の青年有志二三名が参加してくれました。私たちが三池で学んだことを一人でも多くの仲間に知らせること、それが私の心にきっと消えることのない三池のおばさんや同志に対する唯一の恩返しだと思うのです。

二月五日
宮浦　田上　勇様